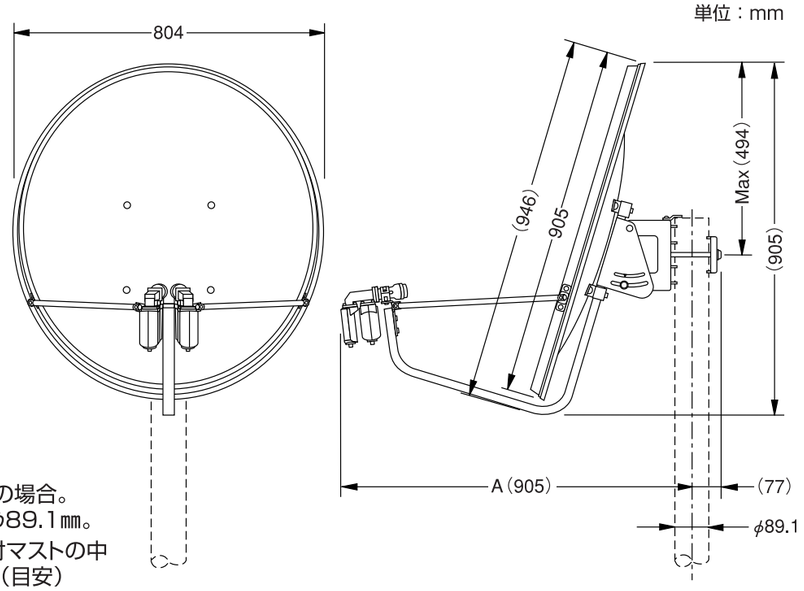
外観寸法図

［CS-DE755］

単位：mm



●本図は、アンテナ仰角45°の場合。
●適合マスト径はφ48.6～φ89.1㎜。
■仰角可変時のアンテナ取付マストの中心から給電部までの寸法。（目安）

	最小値	最大値
仰角調整範囲（°）	28.0	62.0
A 寸 法（mm）	809	951

QT494

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）

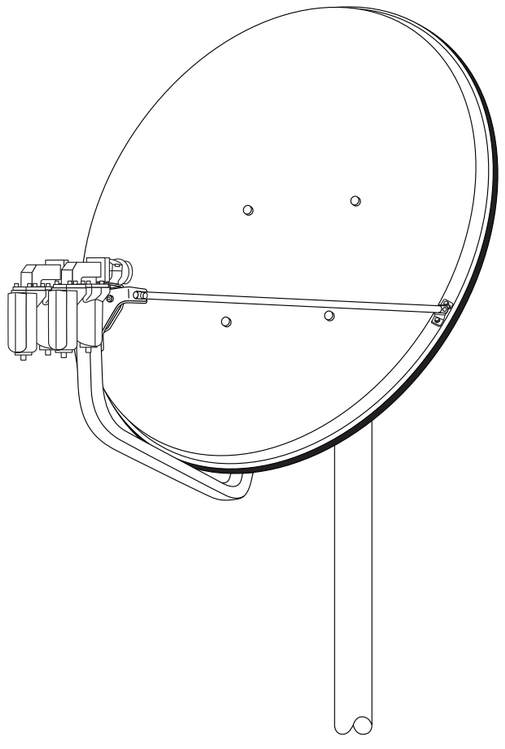
※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
平成17年5月

日本アンテナ

取扱説明書

このたびは日本アンテナ製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

●この説明書と添付の保証書をよくお読みいただき、衛星放送をじゅうぶんお楽しみください。
●この説明書は保証書と一緒に保管いただき、ご使用後はいつでも見られるところに必ず保存してください。
●保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。



スカイパーフェクTV!受信専用 75cm型 CSアンテナ

Model **CS-DE755**
〈2衛星受信コンバーター付〉

目　次

表紙
説明の始まるページ
〔取扱説明書〕
取扱上のご注意……1
安全上のご注意……2
お問い合わせ先……2
アンテナの特長……3
性能規格……3
各部の名称……3
メンテナンス……3
〔施工説明書〕
関連法規……4
設置上のご注意……4
構成部品……4
用意する工具及びテープ類……5
設置完成例……5
組立と取付方法……5
アンテナの調整方法……7
仰角と方位角……9
このようなときは……11
外観寸法図……12

取扱上のご注意　CSアンテナの取付けや設置工事は、強度上の安全性確保のため、必ず専門の技術者または、専門業者にお任せください。

QT494

安全上のご注意

絵表示について　この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⃠	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
❗	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告　この表示を無視したり、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ●雷が鳴りだしたら、アンテナやケーブル、チューナーには触れないでください。感電の原因となります。
- ●反射鏡には光沢ができる塗料やワックスなどを塗らないでください。太陽光線がコンバーターに集まり、やけどや故障の原因になります。

⚠注意　この表示を無視したり、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

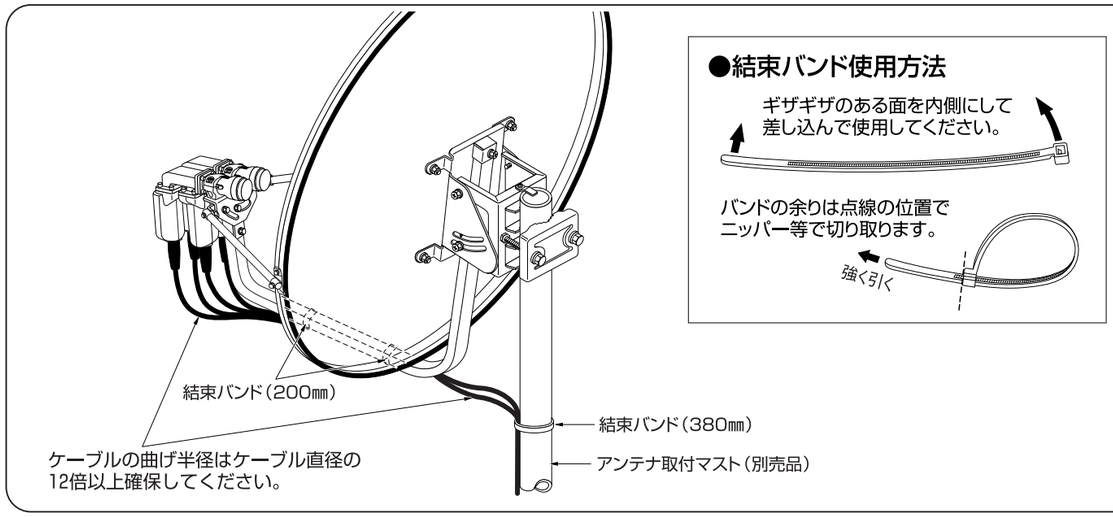
- ●アンテナは、強風の影響を受けやすいため、指定の締付トルクでしっかりと取付けてください。取付が不完全な場合、落下したり、けがの原因となることがあります。
- ●アンテナを改造、分解しないでください。故障の原因となることがあります。
- ●強風のときや雨、雪、雷など天候の悪い日は、危険ですから取付作業を行わないでください。

お問い合わせ先

受付時間：午前9:00～午後5:00（月～金）

［支　店］
東　京 ☎(03)3893-5371
名古屋 ☎(052)822-3321
大　阪 ☎(06)6928-3461
福　岡 ☎(092)584-1751
［営業所］
札　幌 ☎(011)743-8515
盛　岡 ☎(019)625-3128
仙　台 ☎(022)390-0255
郡　山 ☎(024)921-6011
宇都宮 ☎(028)663-4191
高　崎 ☎(027)361-1041
水　戸 ☎(029)253-6901
長　野 ☎(026)244-3135
富　山 ☎(076)494-8552
さいたま ☎(048)651-7361
千　葉 ☎(043)265-6401
多　摩 ☎(042)540-1100
横　浜 ☎(045)829-0024
静　岡 ☎(054)238-1200
浜　松 ☎(053)462-8521
神　戸 ☎(078)978-5545
岡　山 ☎(086)241-9808
広　島 ☎(082)292-2747
高　松 ☎(087)865-0945
北九州 ☎(093)611-5258
熊　本 ☎(096)358-6211
鹿児島 ☎(099)260-9666
［出張所］
釧　路 ☎(0154)24-7410
塩　尻 ☎(0263)53-5221
［上野事務所］
伝送システム部
☎(03)5806-8174
［関係会社］
ニチアンCATV㈱
☎(03)3843-2419

❾同軸ケーブルの固定方法



このようなときは

●修理を依頼される前に下記のことをお確かめください。

このようなとき	対　策	このようなとき	対　策
テレビで確認したら画像も音声も出ない	●アンテナの向きがズレていないか、再度確認してください。 ●同軸ケーブルが正しく接続されているか、確認してください。 ●チューナー等のアンテナ電源が「入」または「オン」になっているか、確認してください。（共同アンテナの場合は不要） （確認方法は、お手持ちのチューナー等の説明書をご参照ください。）	テレビ画像にノイズが現れる	●アンテナの向きがズレていないか、再度確認してください。 ●雨、雷雲、積雪などによる電波の減衰が考えられます。 ●強風時のアンテナの揺れによる場合もあります。 ●同軸ケーブルの劣化も考えられます。

⚠注意　上表に従って調べていただき、直らないときは、必ずチューナー等の電源プラグを抜いてください。

1 保証書 〈別に添付してあります〉	保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。 （保証書がありませんと無料修理保証期間中でも、代金を請求される場合があります。）
2 保証期間	お買い上げの日から本体1年間です。
3 アフターサービス等についておわかりにならないとき	お買い上げの販売店または、お近くの弊社支店・営業所にお問い合わせください。
4 保証期間中は	保証書の規定に従って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 正常な使用状態で故障した場合には、弊社または弊社の指定するサービス機関が無料修理いたします。 お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの弊社支店・営業所にご連絡ください。
5 保証期間が過ぎているときは	お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。 販売店にご依頼にならない場合には、お近くの弊社支店・営業所にご連絡ください。
6 補修用性能部品の最低保有期間	本アンテナの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低5年間保有しております。

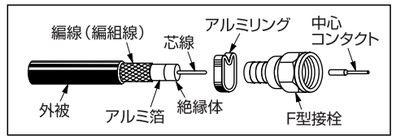
●修理を依頼されるときには次の内容をご連絡ください。

ご　氏　名		型　　名	**CS-DE755**
ご　住　所		お買い上げ年月日	
電 話 番 号		故 障 内 容	なるべく詳しくお知らせください。
製　品　名	CSアンテナ		

F型接栓の場合

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

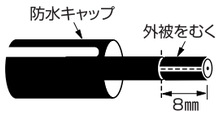
■同軸ケーブルの名称（75Ω用）　（別売）



●アルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

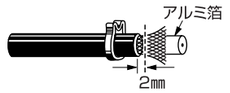
①必ずケーブルに防水キャップを通してから、ケーブル加工を始めてください。

②カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）



③外被をむきアルミリングを通しておきます。

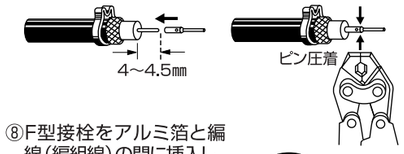
④編線（編組線）をめくりあげて2㎜残しカットします。



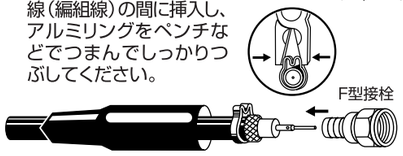
⑤編線（編組線）をめくり返します。

⑥編線（編組線）から2㎜はなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。

⑦芯線を4～4.5㎜にカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないようカシメます。



⑧F型接栓をアルミ箔と編線（編組線）の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



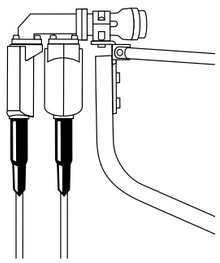
ポイント
●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。
●芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。

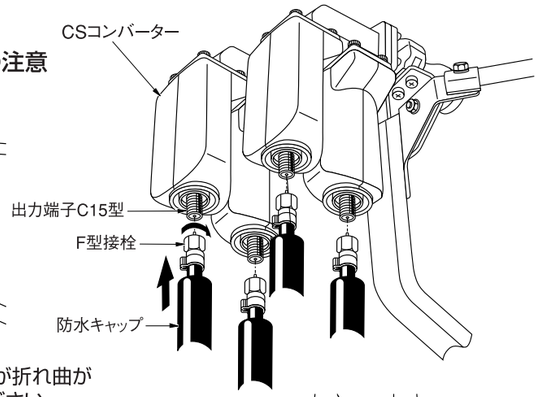
⚠注意　加工の際の、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

⑧同軸ケーブルの接続と防水キャップの取付方法

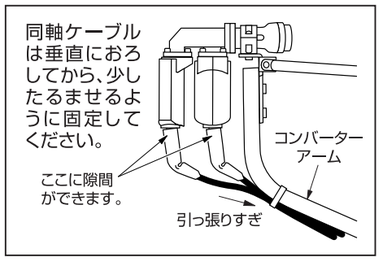
⚠注意　●コンバーターにケーブルを接続し、モンキーレンチ等で締め付けてください。
（締付トルクの目安　約2.0N・m〔20kgf・cm〕）
●締め付けが弱いと防水性が劣り、逆に強すぎると接栓部が破損してしまうことがあります。

●防水キャップ取付上の注意

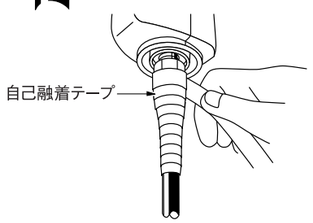




①ケーブルは防水キャップが折れ曲がらないように固定してください。
②ケーブルは結束部からたるませるように固定してください。
③ケーブル固定後、防水キャップがはずれていないか確認してください。



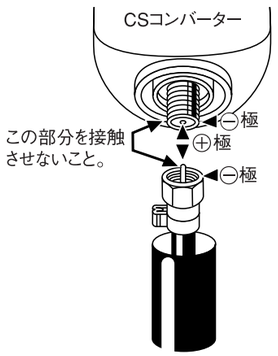
防水キャップを曲げると、すきまから水が入り、映りが悪くなる場合があります。



同軸ケーブルをCSコンバーター出力端子に接続し、モンキーレンチ（スパナ）等で締め付けた後、防水キャップを奥に突き当たるまでしっかり挿入して完了です。また、塩害地、雨が多い地域では、雨水の侵入を防ぎ、性能を維持するために、防水キャップを取付ける前に自己融着テープを巻き、さらにビニールテープを巻き付けた後、防水キャップを取付けることをおすすめします。

ポイント

ケーブルをアンテナに脱着する際には、CSコンバーターへのアンテナ電源は必ず〔オフ〕にしてください。電源が〔オン〕の状態でショートさせますと、CSチューナーからCSコンバーターへの電流は、安全装置により自動的に停止したり、再設定する必要があります。



※中心コンタクト（⊕極）をCSコンバーター出力端子外側の⊖極に接触させるとショートします。

アンテナの特長

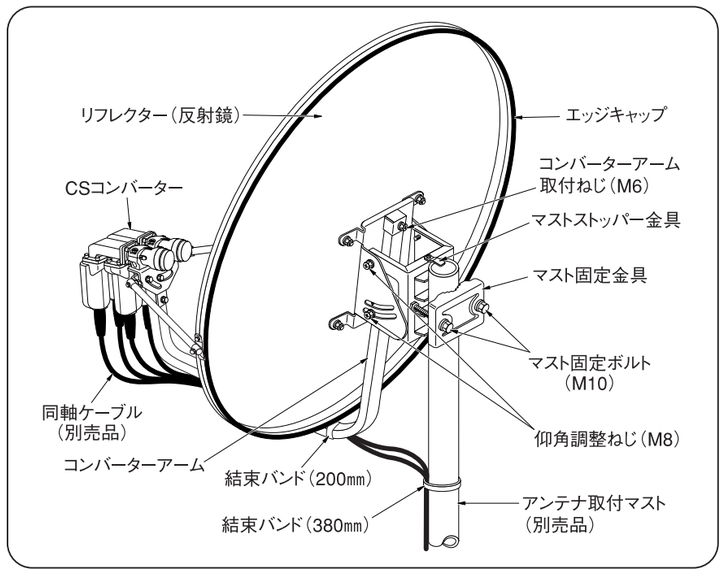
●反射鏡にアルミ材を採用し、軽量化を図りました。
●マスト取付金具は、塩害地に最適な溶融亜鉛メッキ仕上げをしてありますので、安心してご利用いただけます。
●コンバーターは密閉構造で、耐久性に優れています。

性能規格

項目 ＼ 機種名	CS-DE755	
受信偏波	直線偏波	
	水平偏波	垂直偏波
受信周波数範囲	12.2～12.75GHz	
アンテナ口径	75cm	
アンテナ利得	37.5dBi（標準）	
性能指数（G／T）	17.0dB/K（標準）	
雑音指数	0.8dB（標準）	
出力周波数	1522～2072MHz	1000～1550MHz
局部発振周波数	10.678GHz	11.2GHz
コンバーター総合利得	54（標準）	
位相雑音（dBc/Hz）	1KHz OFFSET　−52以下 5KHz OFFSET　−70以下 10KHz OFFSET　−80以下	
出力構造	防水型75ΩF型レセプタクル（C-15型相当）	
耐風速	20m／sec以下　受信可能（利得低下1dB以下） 40m／sec以下　再調整復元可能 60m／sec以下　非破壊	
使用温度範囲	−30℃～+50℃	
電源	DC+9.5～DC+16.5V（ケーブル重畳）	
消費電流	120mA以下	
外観寸法	幅804mm×高さ905mm×奥行982mm（マスト径φ89.1mm、仰角45°の場合）	
質量（重量）	9.1kg	
適合マスト径	φ48.6mm～φ89.1mm	
付属品	●結束バンド（ℓ＝200mm 2本　ℓ＝380mm 1本） ●防水キャップ　4個　●取扱説明書・保証書　各1部	

●製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

各部の名称



メンテナンスについて

いつまでも美しい映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に保守点検を依頼してください。

施工説明書

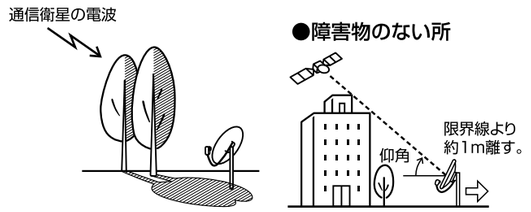
関連法規　この製品は有線テレビジョン放送等が適用されます。

設置上のご注意

下記の注意事項をお守りください。

①アンテナの設置場所をよく選ぶ

電波の到来方向が見渡せる場所に設置してください。
受信方向（仰角・方位角）に山、ビル、金網、送電線、鉄塔、樹木等、障害物がありますと受信レベルに影響することがあります。
陰にならない場所を選んで設置してください。

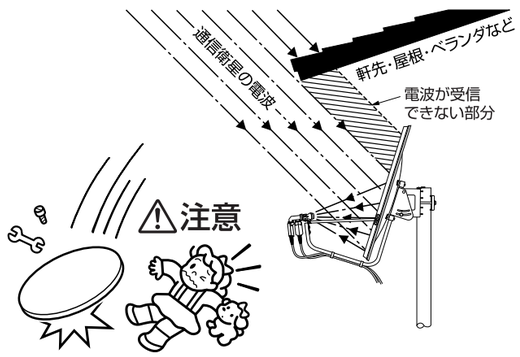


②気象条件による受信の劣化

衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり雪がアンテナに付着すると、電波が弱くなり一時的に画面や音声に雑音が出たりひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。
これは気象条件によるものでアンテナやチューナーの故障ではありません。

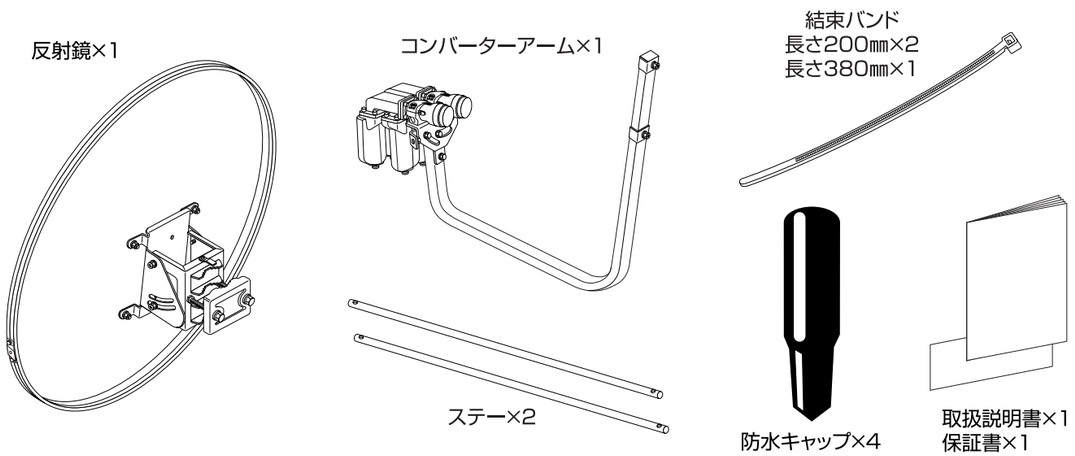
③アンテナの設置

本アンテナは従来のアンテナと比べて風の影響を受けやすい形状になっていますので、アンテナの取付けるマストおよび取付金具は、しっかり固定してください。
屋上もしくは屋根の上の設置では、地上より風の影響がさらに増大しますので、設置するときには、しっかりした足場で安全を確保したうえで施工してください。落下防止のため、丈夫なヒモでアンテナ、取付金具、工具類を結んで作業すると安心です。
また、軒下などにアンテナを設置する際、軒先、屋根、ベランダなどによって電波の一部が受信障害を受け、受信に悪影響をおよぼします。
このような場合には、軒先などが受信の障害とならない位置（たとえば前方または下方）にアンテナの移設が必要です。
アンテナは重いので、開梱、持ち運びは必ず2人以上で行なってください。



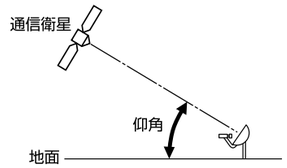
構成部品

下記の部品で構成されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。



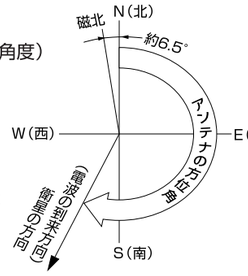
仰角・方位角・偏波角

●仰角について
（受信点から衛星を見上げた角度）

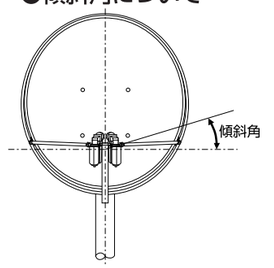


●方位角について
（真北から東まわりに測った衛星の角度）

◎方位磁石で方位角を求める場合
①まず、磁針で北を求めます。
②求めた磁北は、西偏角により西に約6.5度ずれています。
③方位角に西偏角（約6.5度）を加えた補正値が、磁北からの衛星の方向になります。



●傾斜角について



●主な都市の方位角、仰角、偏波角、傾斜角

受信地	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	傾斜角（度）
札　幌	201.9	38.5	13.9	+15.5
旭　川	203.0	37.5	14.5	+15.5
稚　内	201.5	36.0	13.1	+14.2
根　室	207.4	37.0	17.8	+19.5
帯　広	204.5	38.2	15.8	+18.1
函　館	201.6	40.1	13.9	+16.8
青　森	201.9	41.1	14.3	+15.5
福　岡	203.0	42.1	15.3	+16.8
仙　台	203.2	43.7	15.8	+18.1
秋　田	201.5	42.4	14.2	+16.8
山　形	202.5	43.9	15.2	+18.1
福　島	202.9	44.3	15.6	+16.8
水　戸	203.5	45.8	16.4	+18.1
宇都宮	202.6	45.8	15.5	+18.1
前　橋	201.4	46.2	14.6	+16.8
さいたま	204.5	46.6	15.6	+18.1
千　葉	203.4	46.7	16.3	+19.5
東　京	202.8	46.8	15.9	+19.5
横　浜	202.7	47.0	15.8	+18.1
新　潟	200.6	44.6	13.8	+15.5
富　山	198.4	46.4	12.1	+15.5
金　沢	197.6	46.6	11.5	+14.1
福　井	197.0	47.3	11.1	+14.1
甲　府	201.0	47.1	14.3	+16.8
長　野	199.9	46.2	13.4	+16.8
岐　阜	198.2	47.9	12.1	+15.5
静　岡	200.9	47.9	14.5	+16.8

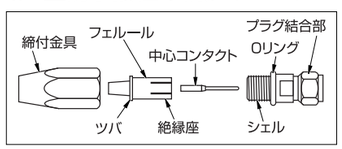
受信地	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	傾斜角（度）
名古屋	198.5	48.1	12.4	+15.5
津	198.0	48.7	12.1	+15.6
大　津	196.8	48.5	11.0	+12.8
京　都	196.7	48.5	10.9	+12.8
大　阪	196.4	48.9	10.7	+12.8
神　戸	195.9	49.0	10.3	+12.8
奈　良	196.9	48.9	11.1	+12.8
和歌山	196.0	49.5	10.4	+12.8
鳥　取	194.0	48.3	8.4	+11.5
松　江	192.1	48.5	7.1	+10.2
岡　山	193.7	49.3	8.5	+11.5
広　島	191.4	49.8	6.5	+8.9
山　口	189.7	50.1	5.1	+7.7
徳　島	195.0	49.8	9.6	+12.8
高　松	194.1	49.6	8.8	+11.5
松　山	192.0	50.4	7.1	+10.2
高　知	193.4	50.6	8.3	+11.5
福　岡	187.9	50.9	3.6	+6.7
佐　賀	187.8	51.3	3.5	+7.7
長　崎	187.2	51.9	2.9	+6.4
熊　本	188.7	51.8	4.2	+7.7
大　分	190.2	51.2	5.5	+8.9
宮　崎	190.2	52.7	5.5	+8.9
鹿児島	188.7	53.1	4.2	+6.4
那　覇	183.8	59.4	−0.7	+3.8
石垣島	177.6	61.2	−8.4	0

7 同軸ケーブルの加工とコネクターの取付

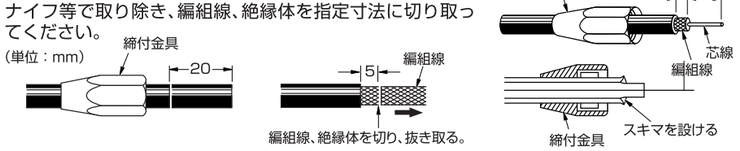
⚠注意
- ●芯線と編組線とをショートさせないように注意しましょう。
- ●同軸ケーブルの加工は芯線や編組線をキズつけないように注意してください。また、このとき芯線が指に突き刺さらないように注意してください。
- ●同軸ケーブルは、S-5C-FB、S-7C-FB相当以上のJIS規格品をお奨めします。
- ●接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形の防水接栓やS-7C-FB以上の同軸ケーブルはピン付き接栓をご使用ください。

防水接栓の場合

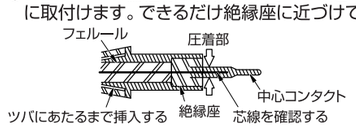
●F型防水接栓の構造（別売品）



①あらかじめ締付金具をケーブルに通しておきます。外被をナイフ等で取り除き、編組線、絶縁体を指定寸法に切り取ってください。
（単位：mm）

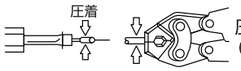


②フェルールを編組線と絶縁体の間にさし込み、次に中心コンタクトを芯線に取付けます。できるだけ絶縁座に近づけて端子を圧着してください。



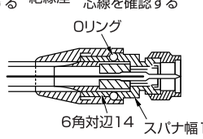
アルミ箔のあるケーブルの場合はアルミ箔と編組線の間にフェルールを挿入します。

③圧着ペンチで芯線と中心コンタクトを固定します。

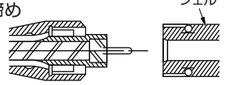


圧着ペンチ
（SHF衛星放送受信システム用）

⑤Oリングがかくれていることを確認します。



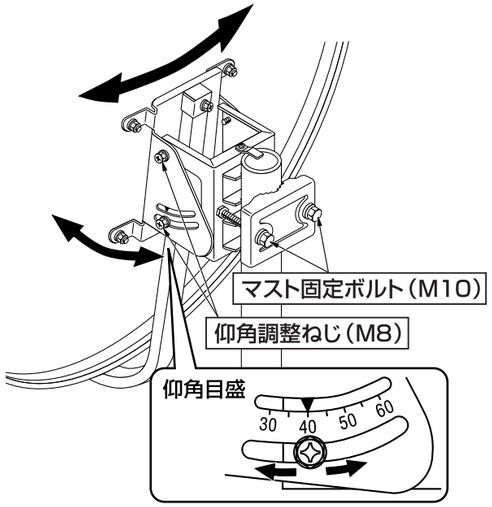
④モンキーレンチでシェルを締めつけます。



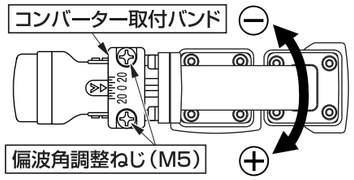
⚠注意
屋外に設置する場合は、屋外用の防水接栓を使用してください。また同軸ケーブルは、衛星対応ケーブルをご使用ください。

5仰角、方位角、偏波角の調整（JCSAT-3）

ポイント 衛星の位置は互いに接近していますので受信する衛星を間違えないよう、アンテナの向きは十分注意してください。



●給電部の構造



●ボルト、ねじの締付トルク

M5	2.9～3.9N・m（30～40kgf・cm）
M8	12.7～13.1N・m（130～134kgf・cm）
M10	25.5～26.5N・m（260～270kgf・cm）

給電部Aの調整を行います。

①仰角の設定

別表（P.9）の仰角表からJCSAT-3の設置場所に近い都市の仰角値を求めます。次に仰角調整ねじをゆるめ、取付金具の側面に示してあります仰角目盛に三角穴の先端を合わせ、左右均等に基準のトルクで締め付けてください。

②方位角の設定

別表（P.9）の方位角表からJCSAT-3の設置場所に近い都市の方位角値を求め、その付近に合わせます。その後、レベルメーターの数値を見ながらゆっくりとアンテナを左右に回転させ、レベルメーターの数値が最大になる位置で、マスト固定ボルトを左右交互均等に基準のトルクで締め付けてください。

③受信できない場合

①②の手順で電波が受信できないときは、アンテナの位置がずれているためです。①②をくりかえし調整して、レベルメーターの数値が最大になる位置で、基準のトルクで締め付けてください。

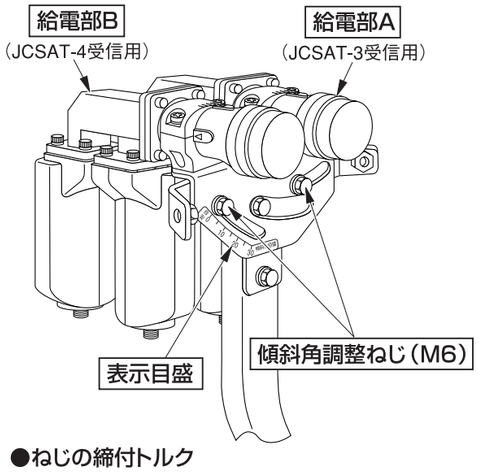
④偏波角の設定

通信衛星の電波は直線偏波のため、受信する地域により、偏波面の傾き角度が異なります。そのため鮮明な画像を受信するには、偏波角の調整が必要になります。偏波角の調整は、別表（P.9）の偏波角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の偏波角を求めます。次に偏波角調整ねじをゆるめ、コンバーター取付バンド上面の目盛に、コンバーター上部の凸部中心を合わせ、その近辺でコンバーターを左右に少しずつ回転させ、レベルメーターの数値が最大になる位置で固定してください。

⑤画像の確認

給電部Aとチューナーを接続して受信した衛星がJCSAT-3かを確認してください。良好であれば完了です。

6仰角、方位角、偏波角の調整（JCSAT-4）



●ねじの締付トルク

M6	4.7～5.1N・m（48～52kgf・cm）

ポイント 手順にないねじ類をゆるめたり、はずしたりすると正常に受信できなくなる場合があります。

給電部Bの調整を行います。

①レベルメーターの接続

JCSAT-3が良好に受信できたらJCSAT-4を受信しますので、給電部Bの出力コネクターとレベルメーターを接続してください。

②レベルメーターのチャンネル切換

レベルメーターのチャンネルをJCSAT-4の受信チャンネルに切り換えてください。

③給電部B傾斜角の設定

前ページ3にて仮設定した傾斜角を、傾斜角調整ねじをゆるめてレベルメーターの数値を見ながらゆっくりと金具を動かし、レベルメーターの数値が最大になる位置で基準のトルクで締め付けてください。

④偏波角の設定

給電部Bは傾斜角を設定しますと、偏波角も同時に設定されますので、偏波角の調整は必要ありません。

⑤レベル値の調整

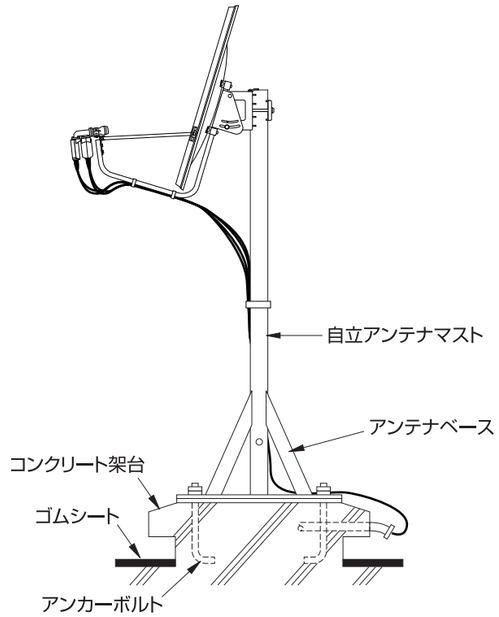
給電部Aと給電部Bとのレベル値が均等になっているか確認してください。均等でないときは3－②と5－③をくりかえし調整して、レベル値が均等になりましたら完了です。CS放送をお楽しみください。

用意する工具及びテープ類

●安全ひも（約1m） ●プラスドライバー ●モンキーレンチ ●はさみまたはナイフ、カッター ●ペンチ ●ニッパー ●自己融着テープ ●ビニールテープなど

設置完成例

●自立設置例

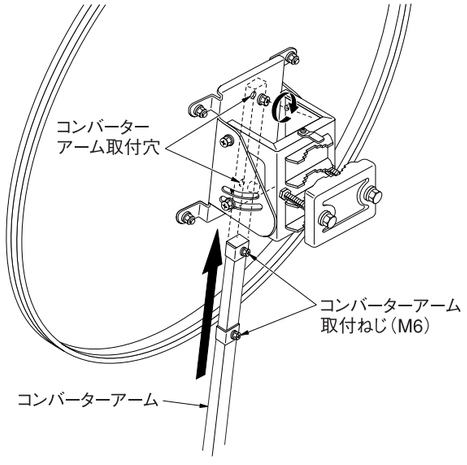


組立と取付方法

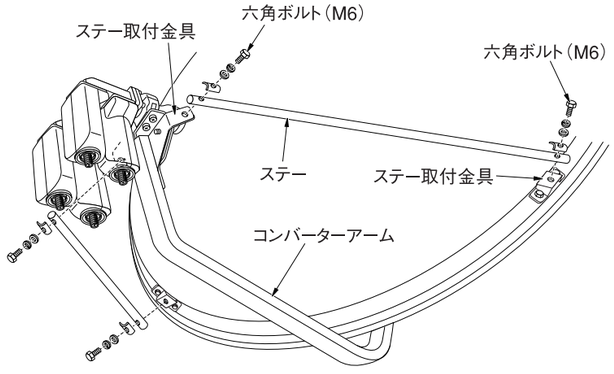
1～9の手順で取付けてください。

1ステー及びコンバーターアームの取付け

コンバーターアームをコンバーターアーム取付ねじ（2本）でコンバーターアーム取付穴に六角レンチ等で基準のトルクでしっかり締め付けてください。



コンバーターアーム取付後、付属のステー（2本）をステー取付金具に六角ボルトで、確実に基準のトルクで取付けてください。

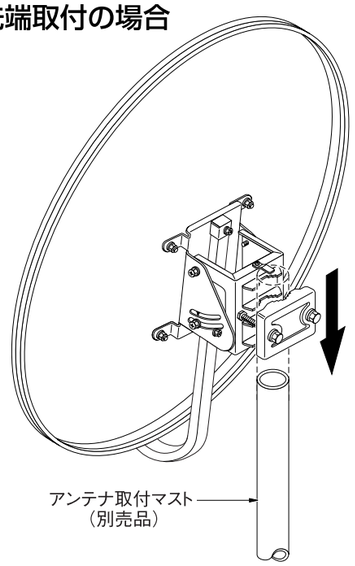


●六角ねじ、ボルトの締付トルク

M6	4.7～5.1N・m（48～52kgf・cm）

❷マストへの取付け

●先端取付の場合



①先端取付けの場合は、六角ボルト（M10）2本をゆるめ、図のようにアンテナ取付マストの上部から挿入し、適切な位置で落下しない程度に六角レンチ等で仮止めします。アンテナ調整後、基準のトルクで締め付けてください。

ポイント

適合マスト径は、φ48.6～φ89.1mmです。
マストは、垂直にたててください。

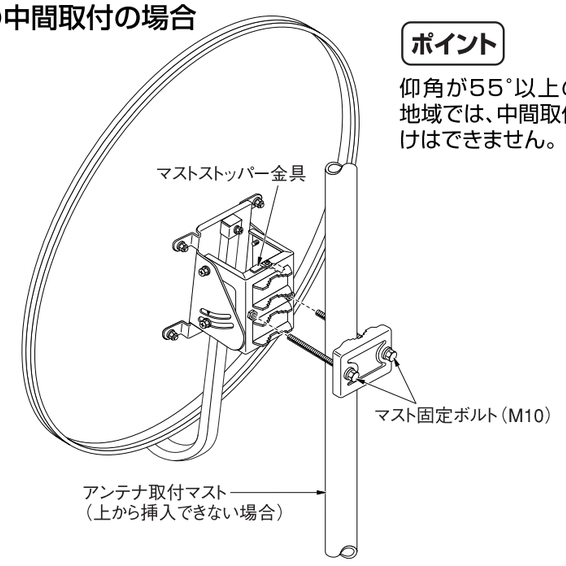
●ねじ、ボルトの締付トルク

M4	1.9～2.1N･m（19～21kgf･cm）
M10	25.5～26.5N･m（260～270kgf･cm）

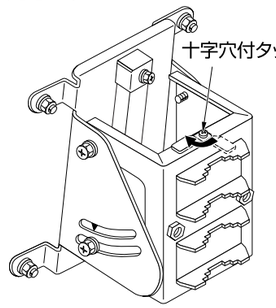
●中間取付の場合

ポイント

仰角が55°以上の地域では、中間取付けはできません。



②取付マストの中間に取付ける場合（上から挿入できない状態）は、マストストッパー金具の向きを変え、固定金具をいったん取り外し、任意の位置で再度固定金具を当ててマスト固定ボルト（M10）で仮固定してください。アンテナ調整後、基準のトルクで締め付けてください。

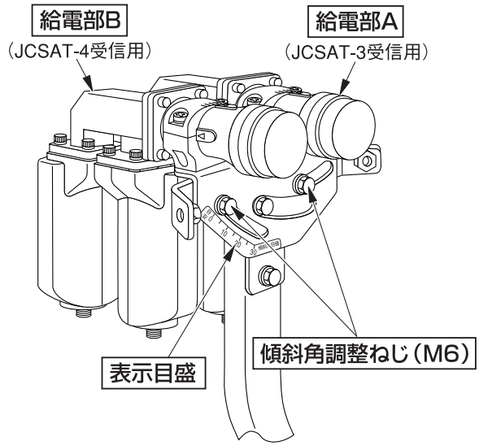


十字穴付タッピンねじをゆるめ、90°程度向きをかえ、ねじを締め付けてください。

アンテナの調整方法

❸給電部位置の調整

ポイント 受信地域で生じる2衛星間の傾斜角に対応するため、給電部Bを移動させる必要があります。



●ねじの締付トルク

M6	4.7～5.1N･m（48～52kgf･cm）

①右表の傾斜角表から設置場所に近い都市の傾斜角を選んでください。
②給電部B位置の設定は傾斜角調整ねじをゆるめ、①で選んだ角度に近い表示目盛りに傾斜角調整ねじの中心を合わせて仮止めしてください。

●JCSAT-3号とJCSAT-4号の傾斜角表

受信地	傾斜角（度）	受信地	傾斜角（度）	受信地	傾斜角（度）
札　幌	15.5	横　浜	18.1	松江	10.2
旭　川	15.5	新　潟	15.5	岡山	11.5
稚　内	14.2	富　山	15.5	広島	8.9
根　室	19.5	金　沢	14.1	山口	7.7
帯　広	18.1	福　井	14.1	徳島	12.8
函　館	16.8	甲　府	16.8	高松	11.5
青　森	15.5	長　野	16.8	松山	10.2
盛　岡	16.8	岐　阜	15.5	高知	11.5
仙　台	18.1	静　岡	16.8	福岡	6.4
秋　田	16.8	名古屋	15.5	佐賀	7.7
山　形	18.1	津	15.5	長崎	6.4
福　島	16.8	大　津	12.8	熊本	7.7
水　戸	18.1	京　都	12.8	大分	8.9
宇都宮	18.1	大　阪	12.8	宮崎	8.9
前　橋	16.8	神　戸	12.8	鹿児島	6.4
さいたま	18.1	奈　良	12.8	那覇	3.8
千　葉	19.5	和歌山	12.8	石垣島	0
東　京	19.5	鳥　取	11.5		

※表示目盛はあくまでも目安です。

❹電界強度測定器（レベルメーター）の接続

CSコンバーターとレベルメーターを右図のように接続してください。
CSコンバーターの出力コネクターとレベルメーターを同軸ケーブルで接続し、レベルメーターのチャンネルを衛星受信チャンネルに合わせてください。
操作方法は、お手持ちの電界強度測定器（レベルメーター）の説明書をご参照ください。

ポイント

デジタル衛星放送を受信する場合は、デジタル対応レベルメーターをご使用ください。

●接続図